

2025年度 第3四半期 京都ものづくり中小企業景況調査

改善傾向がみられる一方、足元の企業実態にはばらつき

調査対象期間 2025年10月～2025年12月（2025年12月末集計）

調査対象企業 300社 回答企業数 246社（回答率 82.0%）

<概況>

受注量DIは前回比+18.3ポイント、受注見通しDIは同+8.0ポイントとなるなど、統計数値上は改善傾向が見られた。ただし、足元の中小企業のリアルな声からは、業界・企業別に大きくばらつきが見られる。具体的には、航空業界向けの防衛関連品目や造船関連が比較的堅調に推移している一方、半導体や電池関連の受注増は限定的で、とりわけ電池関連ではEV市場の頭打ちやコスト競争による業況悪化が進行している。なお、北米や中国に主要販路を持つ企業において売上の落ち込みが見られる中、海外情勢の影響から部品調達を国内へ切り替える企業の動きを受け受注増となっている事例も認められる。

受注単価DIも前回比+3.2ポイントとなっているが、価格交渉についても企業間のばらつきが非常に大きい。独自の技術や製品を有することから、価格交渉に成功している企業もある一方で、相手方から転注を示唆されることにより、十分な価格交渉に踏み切れない企業がある。また、売上が増加しているにも関わらず、原材料費や人件費の上昇によって、十分な利益確保が出来ていないといった企業の声も聞かされている。

全体的な調査結果については改善傾向にあるものの、足元の企業実態を踏まえ、今後も景況を注視しつつ、独自の技術力の強化に向けた支援等に努める必要がある。

調査対象企業300社のうち20社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施

〔全体的な景況感〕

- 航空業界向けの防衛関連品目、造船関連については、堅調な推移が見られる。
- 建機関連において、北米向けの受注が落ち込んでいる。
- サプライチェーンの不安から、部品調達を海外から国内に切り替える傾向が見られる。
- 売上高は増えているものの、原材料費や人件費の上昇で利益は増えていない。
- 価格改定時に他社検討があったものの、独自の技術や製品であることから、代替先がなく受注を維持できている企業もある。
- 価格交渉により転注をほのめかされることがあり、打診すらできていないケースもある。
- 最低賃金引き上げへの対応に加え、人手不足を背景に基本給の引き上げや休日増加などの処遇改善が必要となっており、人件費負担の増加が経営を圧迫している。

〔自動車関連〕

- ハイブリッド車の需要は高まりを見せている一方で、EV車市場は伸び悩んでいる状況にある。自動車工場向け設備関連企業では、工事の進捗が鈍化しているとの声があるものの、EV分野における試作・開発を進められている事例もある。

〔半導体およびAI関連〕

- 引き続き、業界全体として大きな変化は見られない。一部の企業では受注の増加が見られるものの、その動きは限定的であり、全体としては控えめな推移にとどまっている。
- 一方、AI関連でのデータセンター向け冷却用空調に使用される部品関連においては、需要の伸びが見られている。

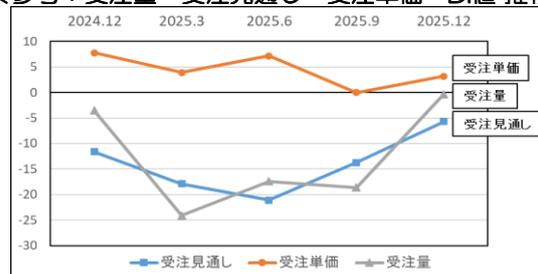
〔電池関連〕

- 電池関連分野に関わる企業では、一部に受注増の動きが見られるものの、業界全体としては業況の悪化が進んでいる。背景にはEV市場の頭打ちによる需要の低下や、中国製の低価格部品の流通拡大によるコスト競争の激化があり、受注を確保した場合でも利益率が低水準にとどまってしまう状況にある。

<DI値（概要）>

	今期DI	前期DI	前回比	記号
受注量	▲0.3	▲18.6	18.3	↗
受注見通し	▲5.7	▲13.7	8.0	↗
受注単価	3.2	±0	3.2	↗
資金繰り	▲11.0	▲12.9	1.9	↗
採算状況	3.6	0.4	3.2	↗
受注余力	31.8	39.6	7.8	↘

<参考：受注量・受注見通し・受注単価 DI値 推移>



1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	19社	② 金属製品関係	64社
③ 一般機器関係	83社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	22社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	37社		

(3) 調査時点

2025年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

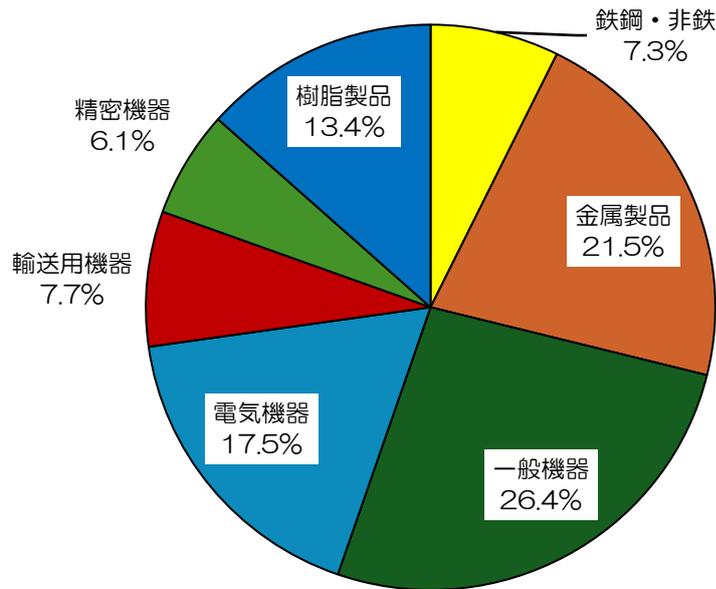
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	246社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	18社	(7.3%)	
金属製品関係	53社	(21.5%)	
一般機器関係	65社	(26.4%)	
電気機器関係	43社	(17.5%)	
輸送用機器関係	19社	(7.7%)	
精密機器関係	15社	(6.1%)	
樹脂製品関係	33社	(13.4%)	
④ 回答率	82.0%		[前回：84.3%]

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.9%		1 2.3%			3 9.1%
~300万円	21 8.5%	1 5.6%	7 13.2%	2 3.1%	4 9.3%	2 10.5%	1 6.7%	4 12.1%
301~999万円	11 4.5%		2 3.8%	6 9.2%		1 5.3%		2 6.1%
1000~2000万円	131 53.3%	10 55.6%	29 54.7%	38 58.5%	22 51.2%	8 42.1%	9 60.0%	15 45.5%
2001~5000万円	58 23.6%	5 27.8%	14 26.4%	15 23.1%	10 23.3%	4 21.1%	3 20.0%	7 21.2%
5000万円超	20 8.1%	2 11.1%		4 6.2%	6 14.0%	4 21.1%	2 13.3%	2 6.1%
合 計	246 100%	18 100%	53 100%	65 100%	43 100%	19 100%	15 100%	33 100%

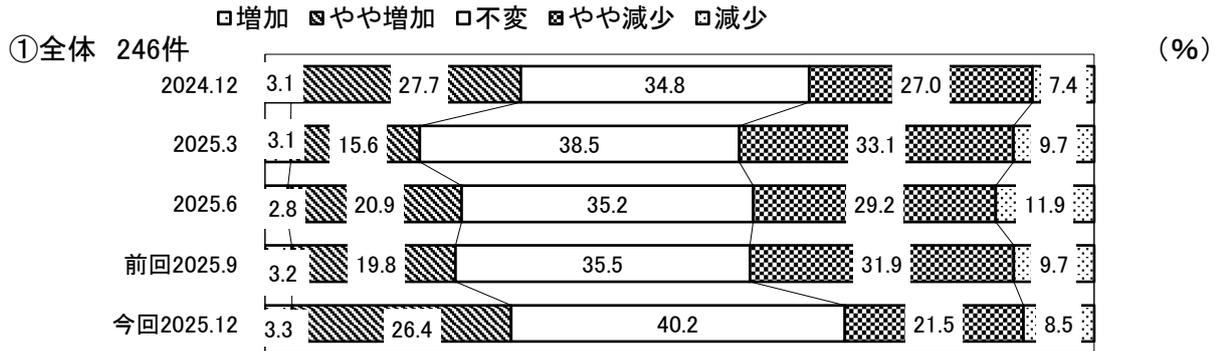
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

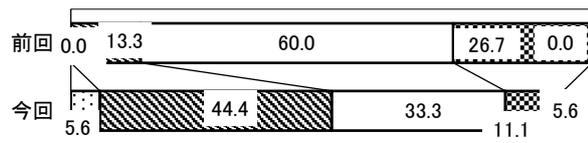
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	21 8.5%	3 16.7%	3 5.7%	8 12.3%	3 7.0%	1 5.3%		3 9.1%
6~10人	30 12.2%	1 5.6%	6 11.3%	7 10.8%	6 14.0%	2 10.5%	3 20.0%	5 15.2%
11~20人	56 22.8%	3 16.7%	11 20.8%	18 27.7%	11 25.6%	2 10.5%	3 20.0%	8 24.2%
21~30人	37 15.0%	4 22.2%	12 22.6%	11 16.9%	4 9.3%	2 10.5%	1 6.7%	3 9.1%
31~50人	42 17.1%	4 22.2%	8 15.1%	11 16.9%	6 14.0%	5 26.3%	3 20.0%	5 15.2%
51人以上	60 24.4%	3 16.7%	13 24.5%	10 15.4%	13 30.2%	7 36.8%	5 33.3%	9 27.3%
合 計	246 100%	18 100%	53 100%	65 100%	43 100%	19 100%	15 100%	33 100%

3. 調査結果

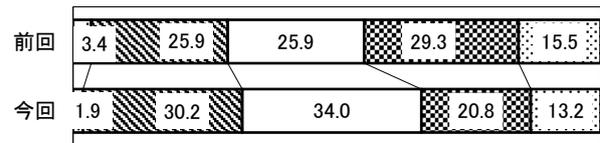
(1) 受注量について



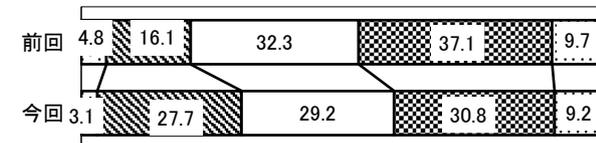
②鉄鋼・非鉄 18件



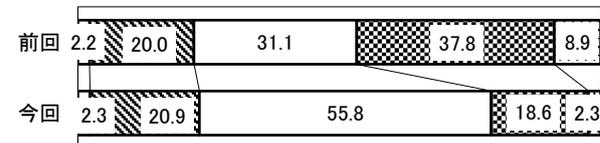
③金属製品 53件



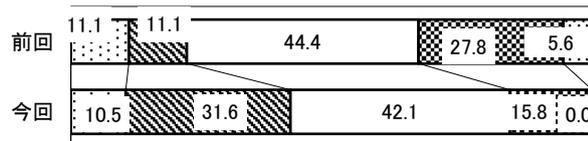
④一般機器 65件



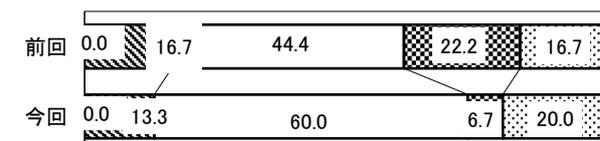
⑤電気機器 43件



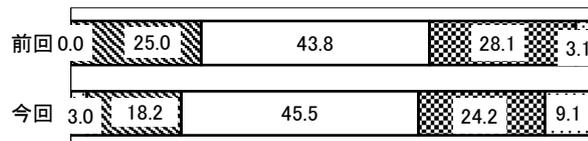
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- ・10月～12月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲0.3となり、前期（7月～9月期）のD I値▲18.6と比べ18.3ポイント増加し、前回調査時から改善した。

○業種別

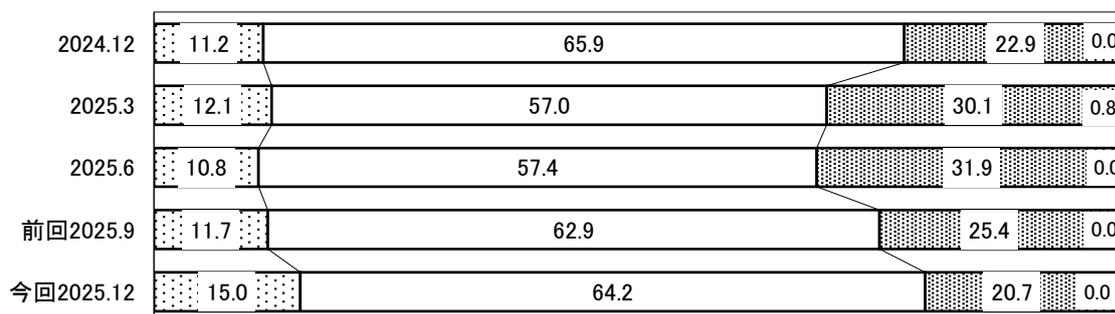
- ・D I値は、鉄鋼・非鉄（33.3）、輸送用機器（26.3）、電気機器（2.3）の3業種でプラスとなり、金属製品（▲1.9）、一般機器（▲9.2）、樹脂製品（▲12.1）、精密機器（▲13.4）の4業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄（46.7ポイント）、輸送用機器（37.5ポイント）、電気機器（26.8ポイント）、一般機器（16.7ポイント）、金属製品（13.6ポイント）、精密機器（8.8ポイント）の6業種でプラスとなり、樹脂製品（▲5.9ポイント）の1業種マイナスとなった。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

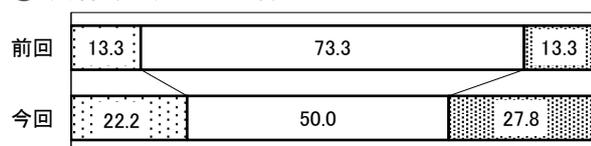
①全体 246件

□増加 □不変 □減少 □不明

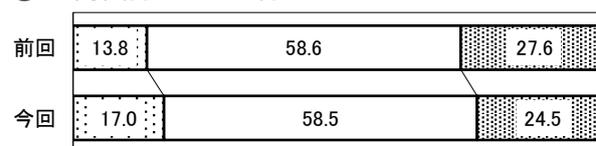
(%)



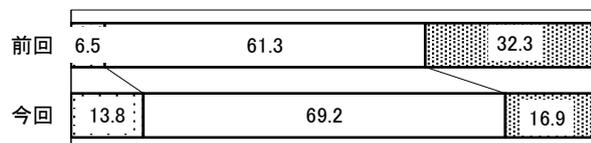
②鉄鋼・非鉄 18件



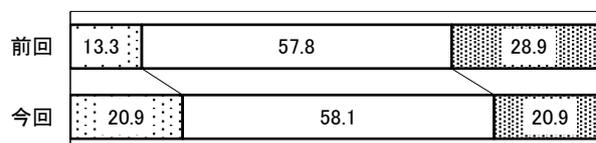
③金属製品 53件



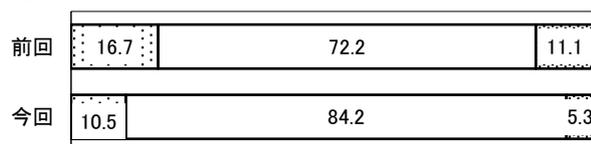
④一般機器 65件



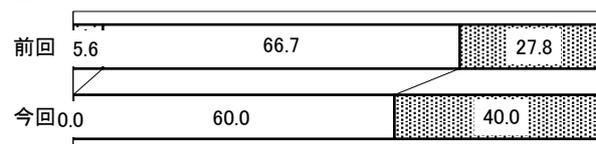
⑤電気機器 43件



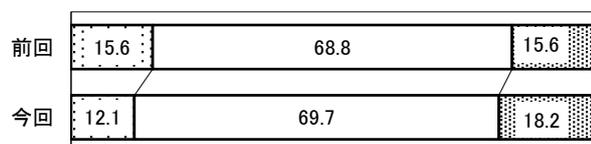
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 33件



○全体

・次期(1月~3月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲5.7となり、前期(7~9月期)調査時のD I 値▲13.7と比べ8.0ポイント増加し、前回調査時から改善した。

○業種別

・D I 値は、輸送用機器(5.2)の1業種でプラスとなり、一般機器(▲3.1)鉄鋼・非鉄(▲5.6)、樹脂製品(▲6.1)、金属製品(▲7.5)、精密機器(▲40.0)の5業種でマイナスとなり、電気機器の1業種で±0となった。

・D I 値を前回と比較すると、一般機器の(22.7ポイント)、電気機器(15.6ポイント)、金属製品(6.3ポイント)の3業種でプラスとなり、輸送用機器(▲0.4ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲5.6ポイント)、樹脂製品(▲6.1ポイント)、精密機器(▲17.8)の4業種でマイナスとなった。

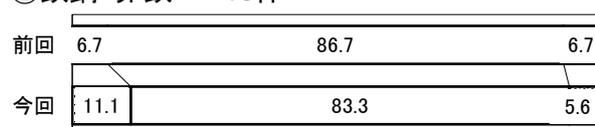
(3) 受注単価について

(%)

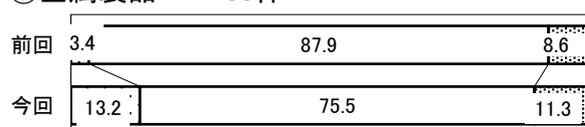
①全体 246件



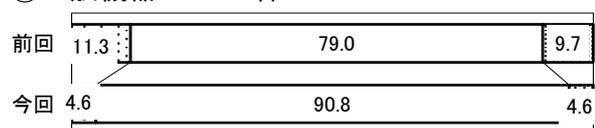
②鉄鋼・非鉄 18件



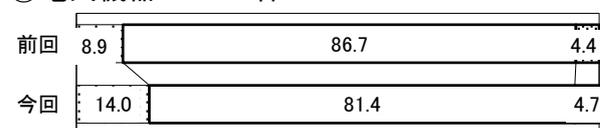
③金属製品 53件



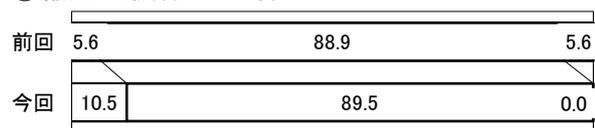
④一般機器 65件



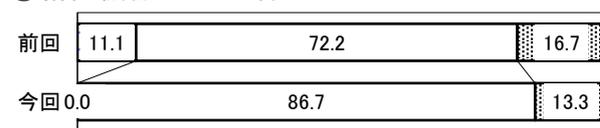
⑤電気機器 43件



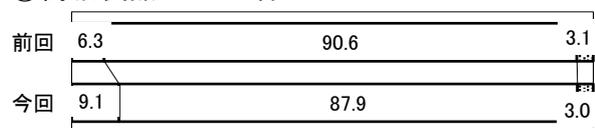
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）3.2となり、前期（7月～9月期）のD I値±0と比べ3.2ポイント増加し、前回調査時から改善した。

○業種別

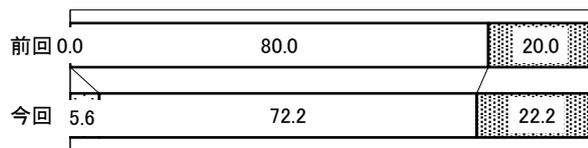
- ・D I値は、輸送用機器（10.5）、電気機器（9.3）、樹脂製品（6.1）、鉄鋼・非鉄（5.5）、金属製品（1.9）の5業種でプラスとなり、精密機器（▲13.3）の1業種でマイナスとなり、一般機器の1業種で±0となった。
- ・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（10.5ポイント）、金属製品（7.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（5.5ポイント）、電気機器（4.8ポイント）、樹脂製品（2.9ポイント）の5業種でプラスとなり、一般機器（▲1.6ポイント）、精密機器（▲7.7ポイント）の2業種でマイナスとなった。

(4) 資金繰りについて

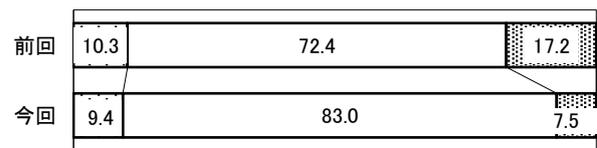
①全体 246件



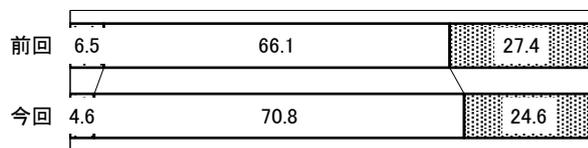
②鉄鋼・非鉄 18件



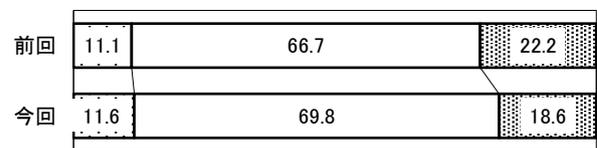
③金属製品 53件



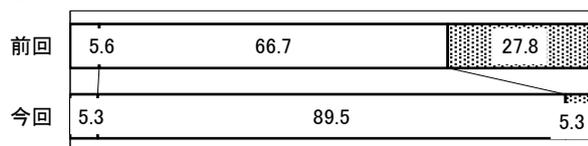
④一般機器 65件



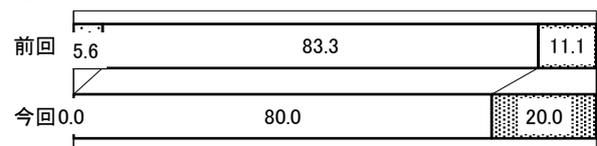
⑤電気機器 43件



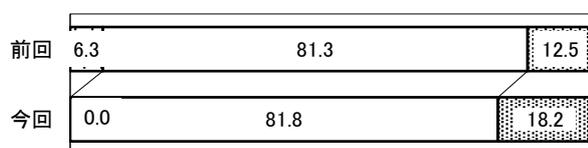
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- ・10月～12月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲11.0となり、前期（7月～9月期）のD I値▲12.9と比べて1.9ポイント増加し、前回調査時から改善した。

○業種別

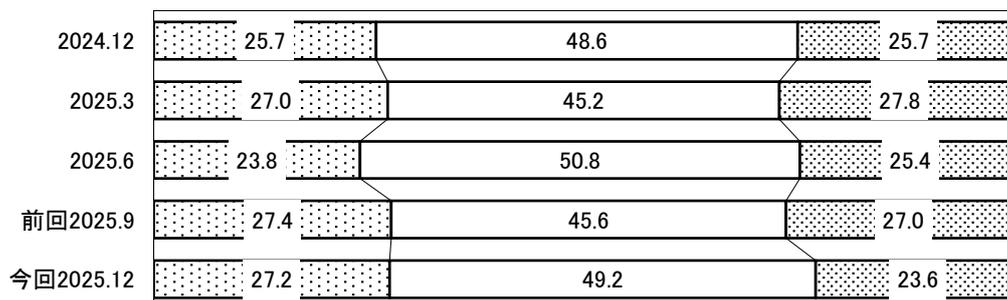
- ・D I値は、金属製品（1.9）の1業種でプラスとなり、電気機器（▲7.0）、鉄鋼・非鉄（▲16.6）、樹脂製品（▲18.2）、一般機器（▲20.0）、精密機器（▲20.0）の5業種でマイナスとなり、輸送用機器の1業種で±0となった。
- ・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（22.2ポイント）、金属製品（8.8ポイント）、電気機器（4.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（3.4ポイント）、一般機器（0.9ポイント）の5業種でプラスとなり、樹脂製品（▲12.0ポイント）、精密機器（▲14.5ポイント）の2業種でマイナスとなった。

(5) 採算状況について

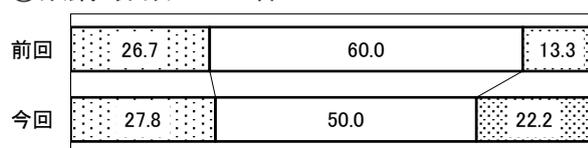
①全体 246件

□黒字 □収支トントン □赤字

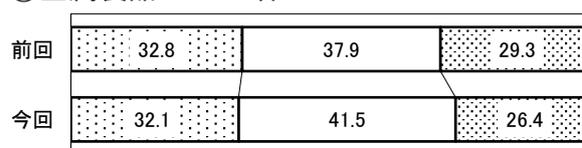
(%)



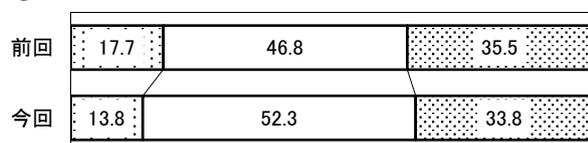
②鉄鋼・非鉄 18件



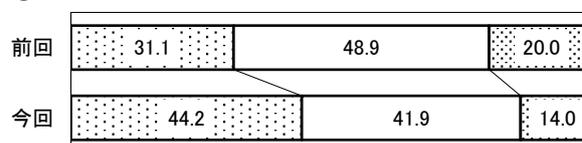
③金属製品 53件



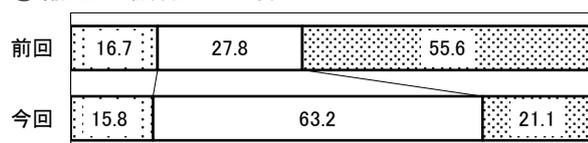
④一般機器 65件



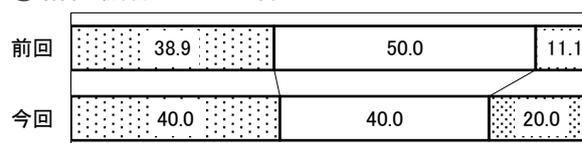
⑤電気機器 43件



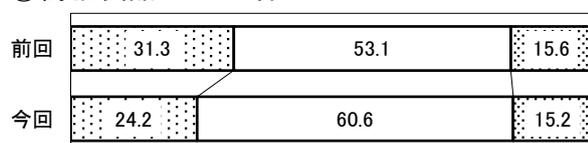
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- 10月～12月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は3.6となり、前期（7月～9月期）のD I値0.4と比べ3.2ポイント増し、前回調査時から改善した。

○業種別

- D I値は、電気機器（30.2ポイント）、精密機器（20.0ポイント）、樹脂製品（9.0ポイント）、金属製品（5.7ポイント）、鉄鋼・非鉄（5.6ポイント）の5業種でプラスとなり、輸送用機器（▲5.3ポイント）、一般機器（▲20.0ポイント）の2業種でマイナスとなった。
- D I値を前回と比較すると、輸送用機器（33.6ポイント）、電気機器（19.1ポイント）、金属製品（2.2ポイント）の3業種でプラスとなり、一般機器（▲2.2ポイント）、樹脂製品（▲6.7ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲7.8ポイント）、精密機器（▲7.8ポイント）の4業種でマイナスとなった。

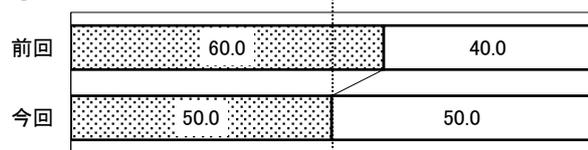
(6) 受注余力について

(%)

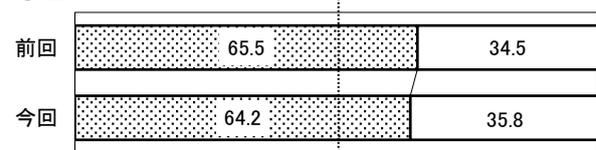
①全体 246件



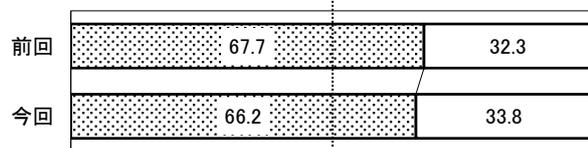
②鉄鋼・非鉄 18件



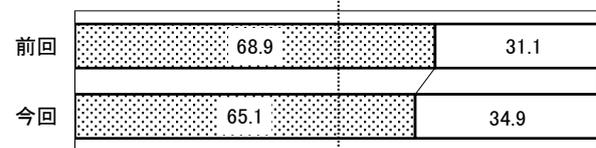
③金属製品 53件



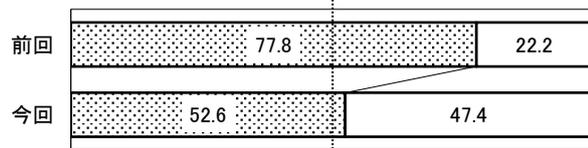
④一般機器 65件



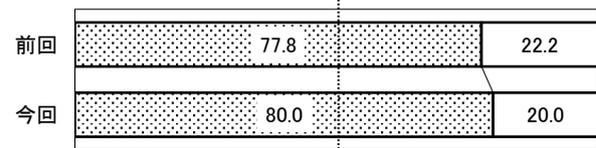
⑤電気機器 43件



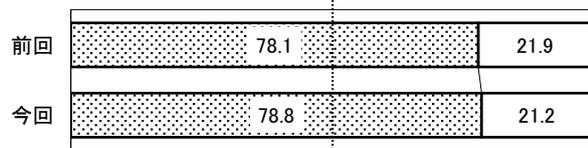
⑥輸送用機器 19件



⑦精密機器 15件



⑧樹脂製品 33件



○全体

- ・10月～12月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた増加）は31.8となり、前期（7月～9月期）のD I値39.6から7.8ポイント減少し、前回調査時から改善した。
- ・10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が65.9%と、前期の69.8%より3.9ポイント減少となった。（「受注余力あり」の割合が減少した＝プラス傾向）

○業種別

- ・D I値は、精密機器（60.0ポイント）、樹脂製品（57.6ポイント）、一般機器（32.4ポイント）、電気機器（30.2ポイント）、金属製品（28.4ポイント）、輸送用機器（5.2ポイント）の6業種でプラスとなり、鉄鋼・非鉄の1業種で±0となった。
- ・D I値を前回と比較すると、精密機器（4.4ポイント）、樹脂製品（1.4ポイント）の2業種でプラス、金属製品（▲2.6ポイント）、一般機器（▲3.0ポイント）、電気機器（▲7.6ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲20.0ポイント）輸送用機器（▲50.4ポイント）の5業種でマイナスとなった。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E - mail : m a r k e t @ k i 2 1 . j p

U R L : h t t p s : // w w w . k i 2 1 . j p